

あらゆる災害を想定した 事前準備

災害対策は常にアップデート

ソフトバンク通信事業3社(ソフトバンクモバイル株式会社・ソフトバンクテレコム株式会社・ソフトバンクBB株式会社)様の災害対策・災害備蓄についてお話を伺いました。

「ソフトバンクの通信関連事業を担う弊社では、災害・事故などによりお客様に通信サービスが提供できなくなることを最大のリスクの一つと捉え、設備被災の発生が予想される場合も速やかな復旧により、サービスへの影響を最小限とするための対策を確立しています。弊社の災害対策はこうしたBCPの取り組みと、そのサービスを支える約15,500人の社員の安全対策にあります。

東日本大震災以降、あらためて、予期せぬ事態にも迅速かつ柔軟な対応ができるように、各種対策を強化してきました。IT事業は非常に変化の激しい業態であり、常に組織や人の変化を捉え、あらゆる面で備えのアップデートを目指しています。」

ITの徹底活用～災害長期化への備え

「社員向けの災害対策は、まずはe-learningや訓練を通じた初動教育、水・食料の十分な確保、さらにITを徹底的に活用した情報伝達手段の構築など、命にかかわる対策を優先に進めました。次のステップとして、これまでのトイレ対策を後処理まで視野に入れて見直したとき、数週間に及ぶ排泄物の集積・廃棄、感染症予防の観点から、ラップオンの密封性が効果的であると考えています。災害備蓄は、後処理まで含めた運用と処分方法を視野に入れてアイテムを検討しています。」



総務部本部
リスクマネジメント部 部長
小笠原 博明 様



災害時の通信確保を担う
気球無線中継システム



移動基地局車設営訓練の様子

導入商品

- ラップオン・トレッカー2
- 専用バッテリーLIB5
- ダンビー



SoftBank

ソフトバンクモバイル株式会社	ソフトバンクBB株式会社	ソフトバンクテレコム株式会社
資本金 1,772億5,100万円	資本金 1,000億円	資本金 100百万円
従業員 約7,900人	従業員 約1,900人	従業員 約5,700人

所在地 〒105-7317 東京都港区東新橋1-9-1 代表者 孫 正義